何故宗教が必要か

ロサンゼルス別院輪番
伊東憲昭

私達の日常生活もパンデミック以前の状態に少しずつ戻りつつあります。まだ予断を許さない状況は続いており、外出時には忘れずにマスクを持参せねばなりません。しかし、私達の多くがワクチンを接種していますので、日曜礼拝に皆様を再びお迎えできるようになったことは素晴らしいことです。またオンラインでの同時配信もこれまでと同様に継続していきます。

信仰する宗教の施設で礼拝ができなくなってからすでに一年以上もの時が経過しています。このような未曾有の事態により、私達の多くが宗教の持つ意義を自覚するようになりました。一方、宗教というものからすっかり離れてしまった人々も多くおられます。

最近、元大谷中学、高校校長の真城義麿先生の著書を読む機会がありました。真城先生は、（大谷派の）学校の使命は真の人間として生きる道を教えることだと言われています。そのためには教育課程に宗教が不可欠だとも仰っています。先生は十八世紀の英国の王族の言葉として「宗教なき教育は知恵だけの悪魔を生み出す」という言葉を引用しておられます。大谷中学、大谷高校は親鸞聖人の教えに基づいた教育を行っています。生徒は「この与えられた場でいかに生き切るか」ということを学ぶのです。それはつまり、自分は何者か、此処は何処か、そして生きる意味は何か、ということを問うことだ、と先生は仰います。

真城先生の本を読んだ時、私がオクシデンタル大学で仏教の顧問を勤めていた頃のことを思い出しました。勤め始めた頃にジョン・ブルックス・スローター博士が初のアフリカ系米国人として学長に就任しました。大学が多様な学生に門戸を広げ、教育課程もそれに応じたものにしようとしたことを知ったのです。それまで学長にはお会いしたことはなかったのですが、面会を求めると、驚いたことに喜んで会って下さると仰いました。そして、私の申し上げることを真剣に聞いて下さったのです。私は自分が学生であった六十年代、大学はほとんど白人の学生で占められていた頃のことをお話しました。一回生の頃に寮に入っていましたが、百人ほどの学生が入寮する三階建ての寮の中でアジア人学生が私の他もう一人、メキシコ系が一人、アフリカ系が一人だけだったのです。八十年代後半には人種の構成はもっと多様化するようになっていました。

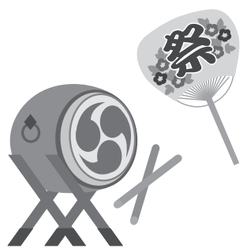
私は学長に、この大学で学ぶことができたことへの感謝を申し上げ、再び学校に関わることができた喜びを伝えました。そしてグループを代表し、私達の活動がいかに大切な意義を持っているか、お伝えしました。宗教部門に関わっている学生はかなり少数ではありましたが、大学の教育だけでは得られないものが宗教にはあるということを学長にお話したのです。

行事予定

七月
四日　独立記念日
十一日　七月祥月法要
十八日　お盆家族礼拝・ペット追悼法要
二十四日　お盆祭り
二十五日　お盆法要

八月
一日　八月祥月法要
八日　日曜礼拝
十五日　日曜礼拝
二十二日　日曜礼拝
二十九日　日曜礼拝

九月
五日　法要休み
六日　レイバーデイ
十二日　九月祥月法要
十九日　秋季彼岸会・秋季セミナー
二十六日　日曜礼拝



す。私達のグループは、単に優秀な学生を育てるだけではなく、深い智恵と慈悲の心をもって社会と関わることができるような、全人的な教育を目指していたのです。もちろん、私個人の努力などとるに足らないものであることは承知しています。しかし、宗教部門は何とかその機能を果たし続けることができていたのです。

大学では、それまで仏教のことを全く知らず、瞑想も経験したことのない学生達に仏教を紹介することができ、それはとても貴重な経験となりました。別院の若いメンバー達と同じように、毎週グループに参加している学生達には、仏教の教えによる良い影響が見られるのです。

私の亡父が生前よく言っていたことは、「自分は良い生徒ではなかった。今も良い先生ではない」ということでした。それは私自身にも言えることです。仏教徒であろうとなかろうと、大切なことは自身の伝統から学び、ご縁のある人々と調和して生きることを学ぶことです。これからも共に念仏の教えを聞き、真の人間として生きる道を見出して参りましょう。

皆様と再びお寺でお会いし、共に聞法することを楽しみにしております。

お盆祭りについて

ヴァーチュアルお盆
七月二十四日（土）午後五時よりフェイスブック同時配信

ヴァーチュアルお盆法要
七月二十五日（日）午前十時よりフェイスブックにて同時配信

万灯会提灯芳名
万灯会法要は、七月二十五日（日）午前十一時三十分より、本堂でのお盆・初盆法要に引き続き、駐車場においてお勤め致します。

万灯会提灯芳名
万灯会の提灯のご芳名を募集しています。本年もお盆はオンラインでの開催になりますが、提灯は実際に屋外に飾り付け致します。申込書をご希望の方は higashiobon@gmail.com までメールをお願いします。記名代金は一つの提灯につき二十五ドルです。お盆祭り終了後に提灯をお受け取りになりたい方は、必ずその旨お寺までお知らせ下さい。九月一日までは全ての提灯を保管します。

お盆・初盆法要
本年のお盆法要並びに初盆法要は七月二十五日（日）午前十時より、過去二年間にお亡くなりになった方々を偲び、本堂にて厳修されます。法要の同時配信もこれまで同様にフェイスブックにて行います。

お盆ティーシャツ
お盆祭りへのご寄付はどのような金額でも歓迎致します。お寺のウェブサイト hhbt-la.org のペイパルを通じてオンラインで販売します。商品はお寺にてお渡し致します。大人のサイズのみで価格は二十ドルです。

ティーシャツのデザインコンテストにご参加下さった皆様、ご応募ありがとうございました。本年は柏原リンジーさんのデザインが選ばれました。

サイレントオークション
ラッフルの代わりとしてサイレントオークションを開催します。七月十一日から二十五日までの間オンラインで行います。現在オークションの物品のご寄付を募集していますので、お寺までお知らせ下さい。オークションは 32auctions.com/HigashiObon2021 にてご参加下さい。

お盆祭りへのご寄付
お盆祭りへのご寄付はどのような金額でも歓迎致します。お寺のウェブサイト hhbt-la.org のペイパルを通じてお送り頂くか、サイレントオークションのサイトにてスポンサーとしてご参加下さい。チェックにてご寄付頂く場合は、Higashi Honganji Buddhist Temple 宛に、505 E. 3rd St., Los Angeles, CA 90013 までお送り下さい。どうぞよろしくお願い致します。

寄付のご案内
ハッピ・ドーナー　千ドル
ユカタ・ドーナー　五百ドル
タイコ・ドーナー　二百五十ドル
ウチワ・ドーナー　百ドル
テヌグイ・ドーナー　五十ドル
カチカチ・ドーナー　二十五ドル

お盆祭りにつきましては引き続きご連絡致します。最新の情報はメールにて配信しますので、ご希望の方は info@hhbt-la.org または、ウェブサイト、フェイスブックのページよりご登録下さい。